

大綱米
プロジェクト

稲刈り

令和4年9月22日

今年は、稲刈りができたぞ～！

9月に入りよい天気が続いていました。稲穂が黄金色にそして、重そうに垂れて、いよいよ稲刈りの日となりました。昨年は、新型コロナウイルスの蔓延により、稲刈りが中止となっていました。「よし、今年こそ頑張るぞ！」と意気込んで、楽しみにしている人が多かったです。機械ではなく鎌で稲を刈る体験は、小中学校で体験したことがあるという人もいましたが、始めにどのくらいの束を刈るのか、どうやって纏めるのか、西仙北ファームの方に実演してもらいました。

→刈り取った束が、くるくるっと宙を舞い、あっという間に纏まって、手品のようにした。

↓この写真に写っている稲は、1年生が担当しました。すべて刈り取ることができました。



大釜先生

↑大釜先生のことを天意さんは“農家のお母さんみたい”といいました(笑)。農家のお母さんが、力持ちの天意さんに稲を手渡ししてくれました。「よし、たくさん持って行って！」

刈るのが上手な人、纏めるのが上手な人、力仕事に向いている人など、分担しながら効率よく作業していました。



なかよし二人



刈ったぜ！



今回刈った稲わらは、2月の“刈野大綱引き”の綱になり、大綱米は試食できるようです。夢中で稲刈りをして、藁の欠片で体がかゆくなったり、藁が手に刺さったりいろいろありましたが、終わったときは充実した顔をしていました。お疲れ様でした。